

令和6年度 第5回 地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会 会議要録

日時：令和6年12月20日(金)午後1時30分～3時30分

場所：小山市役所3階 会議室 ab

出席者：(委員)浅井委員長、川合副委員長、朝野委員、岸野委員、高田委員、島委員

【新小山市市民病院】島田理事長兼病院長、佐田副理事長、西村看護部長、関事務部長、大塚事務部副部長兼経理課長、布施総務課長、関人事課長、大川医事課長

【事務局】黒川保健福祉部長、福原保健福祉部次長、栗原健康増進課長、渡邊主査、鈴木保健師

1.開会	
2. 委員長あいさつ	
委員	<p>年末の大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。大分寒くなってきました。私の小児科の方には今日も発熱の患者さんがたくさん来院されていました。ですから、皆さん健康の方にも気を付けていただけたらと思います。</p> <p>本日は議題の内容は新小山市市民病院の第4期中期計画(案)です。皆さまご検討の程よろしく願いいたします。</p>
3. 議事	
(1)地方独立行政法人 新小山市市民病院第4期中期計画(案)について	
事務局	<p>中期計画について、資料の説明に入る前に、9月20日に開催した第4回評価委員会後の第4期中期目標について経過報告をさせていただきます。中期目標について、9月24日に浅井委員長・川合副委員長より浅野市長に答申をいただきました。10月1日から15日にパブリックコメントを実施し、市民等からのご意見はありませんでした。その後11月5日の議員説明会にて、市議会議員に事務局より説明を行いました。さらに、12月定例議会に議案として提案させていただいており、12月23日に議決をいただく予定です。本日の会議で、新小山市市民病院が立案した第4期計画案について、新小山市市民病院よりご説明をいただき、委員会としての意見をとりまとめていただきたいと思います。参考資料をご覧ください。中期計画とは、中期目標を達成するための具体的計画を法人が作成し、市長が認可するというものとなります。認可の際は、あらかじめ議会の議決を得なければならないものとなります。議長よろしく願いいたします。</p>
委員	それでは、第4期中期計画案について、新小山市市民病院よりご説明をお願いいたします。
新小山	資料 地方独立行政法人新小山市市民病院 第4期中期目標、第4期中期計画(案)対比表

市民病院	p.1～20、23 説明
新小山 市民病院	p.21～22(第4 財務内容の改善に関する事項)、24～29(第7 予算、収支計画及び資金計画) 説明
委員	<p>資料2の説明をしていただきました。</p> <p>いくつかは区切って皆様にご意見をいただきたいと思います。</p> <p>まず初めに、前文・第1 中期目標の期間についてご意見ありますか。</p> <p>(なし)</p> <p>次に【第2住民に対して提供するサービスその他の業務の質向上に関する事項】について、ご意見をいただきたいと思います。</p>
委員	p.2 救急ワークステーションについて教えていただきたい。
新小山 市民病院	<p>小山市消防本部の方から、当院の施設の中に救急車の待機所を作ることにより救急車の出動が円滑に行われるというプランを数年前からいただいております。</p> <p>しかし、当院の設備的に待機所を用意するような部屋は用意できなかったのですが、今回、別館建設事業の計画にあたり、救急隊員の待機場を確保することができました。</p> <p>今後は、実際に救急隊員、救急救命士さんを待機させ、円滑に運用できるよう、これから研究する予定でございます。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>p.4 PHR の利用に関して、PHRの利用登録率というのが実際指標になっていますが、具体的にこのPHR利用は、今、現時点では導入前となっておりますが、何か具体的な計画はありますか。</p>
新小山 市民病院	<p>当院のPHRは、具体的なメーカー名で言いますと、「NOBORI」と言うシステムの導入を開始しております。</p> <p>色々な機能はありますが、まず手始めに人間ドックなどの検診結果等を載せる機能がございます。現在は、当院の人間ドックを受診した方でスマホを持っている方には必ずそこでアプリを導入していただき、検診結果を全てそのアプリ上で回答する、結果書の通知による紙媒体を止める。まず人間ドックの方で進めてまいります。</p> <p>ゆくゆくは外来受診にも繋がり、外来の待ち合い表示などを見ることや、クレジットカードの登録により、病院で精算せず帰れるという、後払いシステムの仕組みにも繋がってまいります。そのため、まず人間ドックの方で深めていき、その先も拡大していこうという計画になります。</p>

委員	これは商用的に完成されたものでしょうか。
新小山 市民病院	そうですね、そういうアプリケーションになります。
委員	わかりました。ありがとうございます。 p.7 の手術件数について 3,282 件から 4,000 件となる。これは相当な数字だと思うのですが、具体的な根拠、内訳はいかがでしょうか。手術件数については、自治医大でも増やしていきたいと考えているところです。
新小山 市民病院	具体的な根拠となると、なかなか難しいのですが、現在の 3,282 件は、日帰り手術も含んでいるのですが、今の当院の手術室 5 室をフル活用したアッパーだと思っています。手術室設備が問題となっており、この件数までしか今伸ばせていないというところがございます。今後、別館に手術室を 2 部屋 作ります。1 つの方は、より高度化の手術ということで、ロボット手術等に対応していきますが、もう 1 部屋の方は外来手術専用にして、回していくということも含めまして、作った手術室を有効活用するのと、今の潜在需要を賄うということで、手術室 2 部屋増室分ということで 4,000 件と提示させていただいたものです。
委員	なるほど、ハード面での制約の他、我々は麻酔科医の確保というのが一番のリミッティングファクターになっているのですが、それに関してはいかがですか。
新小山 市民病院	もちろん、実はそこがリスク段階になってしまうとわかっておりまして、これはなかなか努力しますとしか言えないのですが、麻酔科医の確保が整わないとこの件数維持というのは絶対難しいと思いますので、努めてまいりたいと思います。
委員	もう 1 点、p.13 この小児の救急搬送が実績から目標の方を減らしていますが、これは子供の人口減に伴うその自然減と見込んでということでしょうか。
新小山 市民病院	この急性期や小児は現場の担当医のもとで計画を練ってきましたので、小児科の方の担当の中で、子どもの自然減の中で維持していくということも立派な目標だろうということで設定しました。
委員	最後に 1 点、p.18 個人情報関連のインシデント件数というところですが、理想的には 0 にしたいところですけど、我々も難しい。実際に 37 件の内訳の解析や、対応等というのもうすでにされているのか。
新小山 市民病院	この 37 件というのは、当院は細かいものでも全てインシデントに挙げるとともに、内部の個人情報保護管理委員会の方でその内容を調べて対応していくということをとっております。ほぼ全てが外来での書類の誤送付です。そのため、本当に世間で言われるような

	大規模な漏洩ではないのですが、どうしても忙しい中で、予約表や検査結果を違う人のファイルに入れてしまったというものです。1件1件その都度分析はしておりますが、なかなか完全な対応策というのが見えない中で、注意していきましょうという啓発に現在はとどまっています。
委員	はい、わかりました。ありがとうございました。
委員	p.6 別館の建設に関して、別館の建設が令和 8 年に竣工ということで、ここに外来診療、入院、手術、口腔ケア管理、他に事業的に例えばドック機能の拡充など、既存の本院の保険診療の拡充のための別館、という理解でよろしいですか。
新小山 市民病院	そうですね、確かにやりたいことはたくさんあるのですが、建設の問題で絞らなくてはなりませんでした。大きく分けて2つ、手術室の拡充と歯科口腔外科を増やす意味での外来の拡充になりました。
委員	承知しました。ありがとうございます。年度ごとの事業計画を見ていて、やはり経費のところが控除対象外消費税が増えているため、ヘルスケアセンターとか実施施設の事業が少しでも含まれていると、そこをやや緩和する手法があるかもしれないなど思いながら考えていました。
委員	p.4 予防医学の充実について、フレイルドックの実施件数が3件、令和10年度目標値が12 件になっている。フレイルドック単体だけを受けた方の数字が 3 人ということでしょうか。人間ドックメニューに加えてしまえばもっと増えるのではないかと思いますのですが、それはできないのでしょうか。
新小山 市民病院	当院の人間ドックのプランの中に人間ドック、レディースドック、脳ドックの他にフレイルドックという専用のプランを設けています。その受診結果が3 人でした。
新小山 市民病院	各々の部門で出した数値になる。普通の人間ドックをしっかりと行っていくのは当たり前になり、プラスで今話題になっている「フレイル」に着目し、今後増えていく後期高齢者に向けたプランになり、実験的なものをご理解いただけたらと思う。内容は問診や歩くスピード、体のバランス感覚を見る。その兆候を早く見つけることを目的に実施しています。
委員	特定健診のように特定健診だけが目的ではなく、その後の保健指導につなげていくことが大切だと思う。フレイルドック後のフォローはどうされているのでしょうか。
新小山 市民病院	1 日目に検査をしまして、2 週間後に、2 回目の検査ということで、歩行検査とか、健康運動指導士による運動指導、アプリ活用による栄養指導というのを 2 日間に分け実施し、3 か月後にまた身体測定等をやらせていただいています。
委員	わかりました。ありがとうございました。

委員	<p>最初は全体の感想みたいなものになってしまいます。全体として見てみますと、結構な増員とはっきり書いてある点が多かったため、覚悟を感じると言いますか、急性期医療に関しては、最新技術の活用ですとかぜひ実現を願いたいものだと感じました。お伺いしたいのが、p.4BCPについて、これはBCPを感染症の長期化に対応したものに策定するってということで、p.15の方でも、院内感染管理にも書かれていて、新たな感染症に対する備えについて、素晴らしいと思うのですけれど、感染症の状態に対応したものを策定するってということは、これまでのBCPというのは、これはコロナ禍の前に策定されたものでしょうか。ホームページですと見直しを定期的に行うと書いてありました。いわゆる一般企業ですと1年に1回大体見直しを行います、これから先どれぐらいの頻度で見直しをされるのか、今現在はどのようにされているのかと気になりました。</p>
新小山 市民病院	<p>まず、BCPと言いますと、普通は災害時の業務継続計画という考え方ですので、当院もそれは災害拠点病院の中で、地震などそういったものに対応するBCPとして作成しております。それについては年に1回の実動訓練とかを経ながら少しずつ見直しを行っていくというのを続けております。p.4につきまして、いわゆるこの新興感染症に対するBCPというのがコロナ禍を経て次に出てきておまして、そういったものを作られている病院とかも結構出てきていますが、当院はまだその辺が備わっておりませんので、コロナ禍の結果を踏まえた、パンデミック時のBCPをきっちり作っていきましょうというものです。まだ取り掛かっていないので、災害にうまく組み込めるのか、全く別物として作った方がいいのかはこれからの検討となります。</p>
委員	<p>ありがとうございます。実際地震と感染症が、複合的に重なってしまうと、1番悲惨だったと思うので、それに対応し進めていっていただきたいと思います。</p>
委員	<p>色々な意味で先に進まれている素晴らしい計画だなと感じました。私は看護師なので、新しい手術室を拡充することや、新しい医療とか診療とかが始まる時に、医師だけではなくて周りの看護師の訓練とかも必要になると思うのですが、その辺は新しく病院を増設するとか、ある意味研修に行く看護師を確保して外に出して学んでくるっていうシステムができると思うのですが、多分これをやりながら新しいことをどんどんやっていく、一応看護師も増員にはなっていますが、病院として保障していただかないと、目標としてはいいけど、現実の仕事も大変で、さらにそこにまた新たなものが入ってくるという、看護師として病院にどれくらい保障してもらえるのかがちょっと心配になったので、伺いたいと思いました。</p>
新小山	<p>まずは人員の確保、その中で手術室の看護師や周産期であれば助産師を増やす等、</p>

市民病院	<p>特定分野で新人看護師だけではなく経験者を採用していきたいと思います。産科に関しては順序だてて考えていく必要があります。最終的に保障と言われると、まだ言い切れない所ではあります。</p>
委員	<p>島田先生も佐田先生も看護部に理解のある先生方なので、是非頑張ってください。また、災害支援ナースについて、災害だけではなく感染症も学び、災害支援ナースの登録にも是非新小山市市民病院にご協力いただきたいです。</p>
委員	<p>ベースアップ評価料について、これはこの 7 年はまだつくことにはなりますが、これはそれを基本的には入れてという、それとも取りに行くか取りに行かないかという点では、この 1%っていうのはもう全職種の平均だから、確かな、条件はもうちょっと高かったと思うのですが、こういう数字になっているっていう、そういう理解でよろしいですか。あと、佐田先生が来年から就任されるということで、佐田先生の先日の学会でも結構話題になっていたと思うのですが、外科医の減少というのが、外科学会も厚労省も、特に外科系に関しては、この重点化、拠点化して契約化という方に行きますよね。ぜひ、これは自治医大からのお願いですが、一緒に連携しながらそこを目指していくということは、文字に入れるかどうかは別として、ぜひよろしく願いいたします。</p>
新小山市民病院	<p>ありがとうございます。今、栃木県の中で外科の専門医は 356 人います。しかし 2 年前から 8 人減って、減少傾向をどこかで食い止めなくてはいけなくて、そのためには拠点がとにかく必要で、私は今新小山市市民病院をその自治医大の重点拠点病院として、芳賀赤十字病院、JCHO、そういうところにやっぱり人をしっかり集めて、その診療能力を高めつつ、そのサテライトが必要だと考えます。そのような、システマティックな外科診療を県内で考えていきつつ、新小山市市民病院でも人を集めて強化をすることを両方考えながらやっていきたいなど。ぜひご支援してください。</p>
委員	<p>ありがとうございます。他にご意見はありますか。それでは、救急車に関して、時間外選定療養費が始まって3か月経ちましたが、どうでしょうか。茨城県は 2 割くらい減ったと聞きましたが。</p>
新小山市民病院	<p>12 月から始めた茨城県の影響というのは数字が出揃っていません。筑西からは月 50 件ぐらいですかね、茨城県からうちの病院への搬送が、救急車台数年間 4、500 台のうち、茨城から来るのが 600 台ぐらいです。この 12 月の状況で見たいと思います。</p> <p>なお、当院の方は 10 月から時間外選定療養費を始めたのですが、救急車台数が減ったというのはまだないと思います。むしろ、やっていなかった春先の頃から、病気の変化とかそういうものでむしろ減っていたというのがございました。ただ、うちの病院は、そ</p>

	<p>の時間外選定療養を取ろうとしたのも、若干、茨城県側から来る小児の救急のマナーの悪さみたいなのところもあったりして、医師の方がぜひこれ取るべきだとか、そういう判断もございましたので、この制度がいい方向に進めばという風に期待しております。</p>
委員	<p>はい、ではその他いかがでしょうか。それでは次に進みます。第3業務運営の改善及び効率化に関する事項についていかがでしょうか。(p.17～20)</p>
委員	<p>職員のモチベーションアップへの取り組みの拡充 p.19 の 1 番最後のところで、院内保育園等の福利厚生事業の充実により満足度の高い職場への環境整備を図るということで、栃木県看護協会の訪問看護と居宅を例にあげますと、3 か月間非常勤で 4 か月目に面談を実施し常勤になるという制度ではスタッフは中々集まらない。最初から常勤を打ち出したことで、看護師も事務職員も集まるようになりました。福利厚生に関して、スタンダードはもちろんのこと、さらにリニューアルをしていくことで、PR ポイントになるのでしょうか。</p>
委員	<p>p.17 医師の人数が増加していることが分かります。地方も都心も医師の確保に非常に苦労されている。医師の確保に関してソフトな表現になっているため、充足していると捉えても良いでしょうか。</p>
新小山 市民病院	<p>100 床あたりの医師の数は同規模病院より高いため、比較的医師はいるが、充足とは言い切れない。医師が市民病院では働きたくない(忙しい)…という声は昔に比べたら聞かれないため、医師の数が多の方が医師は集まりやすいと考えます。看護師に関しても、病院は人で成り立つという基本的な原則に沿ってやっています。</p>
委員	<p>承知しました。ありがとうございました。余談ですが、全国の病院を見学させていただいていますが、医師が単身赴任されている方が多いと感じています。都市部に配偶者と子どもが住み、医師は 4・5 日に 1 回家に帰れるくらいの距離の病院近くに住む。小山は新幹線も止まるため、そのような医師も呼び込める非常に有利な環境にありますね。</p>
新小山 市民病院	<p>おっしゃる通りで、私自身毎朝東京から来る方とバスに乗って通勤しています。</p>
委員	<p>他にはございますか。それでは【第 4 財務内容の改善に関する事項】の部分に移ります。</p>
委員	<p>p.22 病床稼働率、入院診療、外来診療の単価が分かりやすく明示されていて、病床の稼働率は少なめに見込んでおり、入院単価、外来単価は上げていくようにしようとしている。個々のセクションから出てきた数字、あるいは個々の診療の積み上げっていうことだけではなく、やっぱりベッドの稼働とか、看護師さんを含めた人の配置を少し余裕を持</p>

	<p>たせて、より付加価値の高い医療分野、医療の質を高めるといふ面と債務の質を高めるといふ両面でシフトしていこうと病院全体の表れがここに書いてあるようなイメージで受け止めてよろしいですか。</p>
<p>新小山 市民病院</p>	<p>そうですね。病床稼働率の方は、先生おっしゃる通り、当院かなりの高水準で推移しております。ほぼ満床に近い状態が続いており、実質 95%ぐらいは見込めない水準ではないですが、そこは慎重な目標ということで 93%程度ということで一律にやらさせていただきました。診療単価も、おっしゃる通り、個別の診療科の積み上げた数字と言いますか、全体的な目標ということで、過去の診療単価の推移等も含めた上での計画ということになります。現状で申し上げますと、今、令和 6 年度 10 月までの累計の入院単価が、もうすでに 7 万 2000 円ぐらいに迫る水準になっております。この診療単価の目標自体、令和 10 年度において、高すぎるという認識でもないですが、最低でもこれぐらいに持っていこうと。また、小児入院医療管理料を 4 から 3 に変更したり、そういった新たな加算を今後中期計画期間中に実施することや放射線科医の先生の常勤化等を進め、画像診断管理加算を 1 から 2 に上げる等、そういった個別の加算や施設基準等を鑑みまして、これぐらい伸ばしていきたいというところで設定した数字でございます。</p>
<p>新小山 市民病院</p>	<p>岸野先生にお聞きしたいところがありまして、診療単価というのはそれ自体を目的にしても増強にならない。結果として、上がったという印象です。独法化前は 34,000 円くらいであった。いつの間にかここまで上がってきた。いろんなものを備えている病院かどうかできてくるみたいなことはありと思うのです。これから先まだとれるものがあるとなれば、急性期充実体制加算とか、もう少し上の段階の急性期の診療報酬を佐田先生も目標とされていますので、それでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私から見ますと、とても高い目標をお持ちだなと感じました。全国的に自治体病院は、中規模から大きい規模の病院で、おそらく単価で 7~8 万円入院単価を出している自治体病院は県立中央等を除いてないと思います。私のお客様にはクリニックから病院までありますが、市の中心と呼ばれる病院でさえ、慢性期の入院単価、1 万 2 千~1 万 3 千円からスタートしています。それが新小山市市民病院は 3 万円からスタートして 7 万円まで上がってきたということは素晴らしいですね。医療の質を高めることで診療報酬を上げていく、ぜひ頑張ってくださいたいです。</p>
<p>委員</p>	<p>他によろしいでしょうか。それでは次に進みます。【第 5 その他業務運営に関する重要事項】に関して、ご意見ありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>p.23 地域社会への貢献について、活動指標の中で情報発信効果検証回数について</p>

	<p>項目がありますが、非常に難しいものじゃないかと思いました。何を持って効果とするのか、意識の変容、行動の変容等あると思いますが、それがどの特定の情報発信によって効果があったという風に検証するは結構難儀するものだと思います。どのような方法お考えなのか。何か講座を開催した時に、事業ごとに行う個人のアンケートみたいなものになるのかどうなのか気になりました。</p>
新小山 市民病院	<p>なかなか確かに難しいお話です。ただ、当院の広報や情報発信も、やはり時代の流れの中で紙媒体からソーシャルメディア系に動いています。つい最近、ソーシャルメディアの管理規定なども設けまして、元々facebook、line とかやっていたのですが、今度Youtubeとinstagram で、さらにホームページの閲覧なども全てやっておりますので、そういったものの登録者数ですとかホームページ閲覧回数ですとか、そういうものも検証しながら、活動指標ですので何を目標値とまでは定めておりませんが、日々そういったものをモニタリングして、1 番効果的な、情報発信ができるものを常に探していこうという意味合いとしております。</p>
委員	<p>ポットラックカンファレンスに関して具体的に教えていただきたいです。</p>
新小山 市民病院	<p>地域の医師会の先生と膝を突き合わせてやっている会。その他歯科医師・薬剤師会、看護師も一緒に行っており、地域連携の一つの場になっている。市でもやっていますよね。</p>
事務局	<p>高齢部門の方で医師会の先生方や歯科医師会、薬剤師会、新小山市市民病院の皆さんに来ていただき、医療と介護の連携を目的に在宅医療を中心とした会議を開催しています。</p>
委員	<p>小山地区の中でも中々困難事例を抱えていると思うので、そういった場で意見交換をしていただけたらと思います。</p>
委員	<p>全体で何かご意見はありますか。ないようですので、以上で全ての項目の確認が終わりました。事務局にお返しします。</p>
4. その他	
5. 閉会	
事務局	<p>委員の皆さまにおかれましては、長時間のご審議ありがとうございました。本日もいただいたご意見を踏まえまして、再度新小山市市民病院と検討をしていきたいと思っております。その上で、追加等がございましたら事務局までご連絡ください。その後ですが、庁内の会議を経て、2 月の定例議会の方に提案して参ります。それでは、本日の会議は以上をもちまして終了とさせていただきます。委員長をはじめ委員の皆様、そして新小山市市民病</p>

	院の皆様、本日はお忙しい中ご審議いただき、誠にありがとうございました。
--	-------------------------------------